

## 第 15 回 松代地震センター談話会発表記録

1. 日 時：昭和 45 年 3 月 30 日
2. 場 所：松代地震センター
3. 発表題目：松代のボーリングと水の圧入について
4. 発 表 者：国立防災科学技術センター 高橋 博

最初にボーリングの経過をごくかいつまんで申し上げます。昨年 2 月 10 日に地点選定にまいりまして、松代荘の敷地でやることに決めました。2 月 17 日に工事関係の機材の最初の搬入が行われ、やぐらを建て掘削の準備を始め、3 月 4 日に 9 メートルほど以後の掘進に必要なガイド・パイプなどの挿入のための掘進を行い、3 月 5 日から正式に掘り始めました。5 月には起工式を行い、その後 97 メートルで着岩し、それから掘進をずうっと行いました。

11 月 8 日に 1934.19 メートルの検尺をし、掘進の方はそれで完全に作業は終わり、そのあと検層を行い、ご存知のとおり検層の途中で地震計が孔内に墜落しその回復工事を行ったけれども、また年末の 25 日から検層を再開し、12 日に完全に終了し圧入実験の準備に取りかかり、圧入そのものは 1 月 15 日 19 時から始め、第 1 回の圧入を 18 日まで 3 日間 3 昼夜行いました。その後また抜管し、1 月 31 日から圧入を再開し、終わったのが 13 日午前 0 時 0 分でした。

そのあと、まだ地震の観測その他周囲で行っていますが、ボーリング孔そのものについての実験についての作業は 13 日で終わりとなりました。

順序を少し変えて、ボーリングの孔内の地質構造について先にお話し願いたいと思います。そのあと圧入の経過をお話しし、あとこの順番でお話ししていただくことにします。